

ICT を活用した「授業のユニバーサルデザイン化」中間発表会 報告

日 時：平成 28 年 11 月 28 日（月）

場 所：西条市立小松小学校

参加人数：市内小中学校教職員 94 名

西条市では、特色ある学校教育の推進として、小・中学校 ICT 教育推進事業に取り組んでいる。平成 28・29 年度は、学力向上に繋がる ICT の活用として、『ICT を活用した「授業のユニバーサルデザイン化」』について、研究を進めている。本発表会は、研究指定校である小松小学校の中間発表会である。

公開授業として、4 学級（特別支援学級、低・中・高学年）の授業を公開した。教科のねらいに対応しつつ、みんなが「わかる」「できる」を実感できるための、授業のユニバーサルデザイン化の取組や手立てを取り入れた授業であった。

研究発表では、研修主任の一色司教諭より、今年度の小松小学校の取組、研究の概要についての発表を行った。特に、授業のユニバーサルデザイン化に向けて、「環境づくり」「授業づくり」の取組について、具体的に発表が行われた。「環境づくり」では、安心できる居場所のある学級、整理された環境、明確なルールについて、「授業づくり」では、視覚化、焦点化、共有化について、それぞれ実践例を挙げながら、成果と課題について発表した。

指導講評・講演では、愛媛大学教育学部の吉松靖文教授より、公開授業をもとに、授業のユニバーサルデザイン化に向けて、具体的な指導をいただいた。一人一人がじっくり自分らしく考えるための手立て、ICT を活用した視覚化、共有化、焦点化の手立てなど、具体的にご指導いただいた。また、みんなと同じやり方で答えを出せるようになることを目指した従来の学びから、いろいろなやり方で答えを出せる、目標に向かってチームで結果を出す 21 世紀型スキルを取り入れた授業へ転換することやアクティブ・ラーニングの効果についてなど、今後の教育の方向性についてもご示唆いただいた。

小松小学校で取り組まれている実践を踏まえた研究成果が、市内全小・中学校に浸透し、必要に応じて ICT を活用しながら、みんなが「わかる」「できる」授業が実践できるよう、今後も取り組んでいきたい。



